

〈ミッション〉
自 立
追 究
共 生



未来創造

松江市立義務教育学校
玉湯学園 だより
令和7年6月23日
文責 田中 修

今年度のキーフレーズ

～自ら「気づき・考え・実行する」玉湯学園生のプライドをもって Let's GO～

ホームページもぜひご覧ください！



二次元コードをご利用いただくか、
「玉湯学園ホームページ」で検索ください。
※「つれづれ日記 2025」の写真については、活動の様子が分かる範囲にし、明度や彩度を低くしております。お気づきのことがありましたら、ご一報ください。

“五感を研ぎ澄ます”

本学園は、青少年赤十字だけではなく、緑の少年団にも加盟しています。緑の少年団は、「次代を担う子供達が、緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動を通じて、ふるさとを愛する心豊かな人間に育っていくこと」を目的としています。島根県では平成3年に、緑の少年団連盟が結成されました。

5月のことではありますが、5年生が出前授業を受けました。特別非営利活動法人「もりふれ倶楽部」から3名の講師をお招きし、講義を受けたり、ネイチャーゲームに取り組んだりしました。

ネイチャーゲームでは、ブラインドウォーク（目隠しをして散策する）にチャレンジしました。普段は目（視覚）からたくさんの情報を得ています。今回はそれをふさぐことで、耳（聴覚）や手足の感覚（触覚）などから、身の回りの自然な音や声、足場の不安定さ、風の流れといった多くの情報を受け取っていました。

5年生の学級通信には、

- ・普段は気づかないいろんな鳥たちが鳴いていることがわかり、とてもきれいでした。
- ・目はすぐく大切だとわかりました。だけど耳で「この音はこどもが遊んでいる音だ」「雀の声だ」と感じる事ができました。

などの児童の感想が載っていました。

ちょうどその頃の出来事です。

あいさつボランティアの方が、

「校長先生、そこに野生のキジがいますよ。

最近はなかなか姿が見られませんよ。」

と、教えてくださいました。すぐに写真を撮りましたが、やはり警戒心が強くて上手に撮れませんでした。後日、地域の方から「この辺りを縄張りになっている」とお聞きました。

別の日の朝、今度は職員玄関の近くで、大きな鳴き声の鳥に出会いました。さえずりもきれいですが、青い羽とオレンジのお腹の色が大変に鮮やかで見た目もきれいです。調べてみるとイソヒヨドリでした。「幸せの青い鳥」とも呼ばれているようで、とてもハッピーな気持ちになりました。

いろいろな衰えを感じる今日この頃ですが、五感を研ぎ澄ましてみると、まだまだ豊かな自然や日常を感じる事ができそうです。

友達の肩を頼りにウォーキング



わずかに撮れたキジのショット



学園の活動 あれこれ☆

「絶対負けない！」

強い気持ちがあったら負けない!!

～松江ブロック大会(後期課程)～

勝ちたい気持ちが強すぎると平常心を失うので、「相手に、逆境に、そして自分自身の弱気に」負けず最後まであきらめないで戦い抜こうと、壮行式に激励の言葉を送りました。今年は大大会スケジュールの関係で、ほとんどの会場に行けませんでしたので、応援の気持ちだけ届けて報告を待つことになりました。

県大会、中国大会、全国大会と、大きな目標に向けてがんばるのは当然です。しかし、全国大会で優勝しない限り、どこかで“負け”を経験します。最後の場面で、悔いなくやり切れたのか、そこから何を学ぶことができたのか、何を残せたのか、いかに次へとつなげていくのか…それらと向き合うことがより一層大切です。

校内放送で紹介された、各部活動の大会報告を一部掲載します。

【陸上競技】

結果は2人とも 100m B 標準を惜しくも切ることができず、県大会に出場することはできませんでした。初めてブロック大会に出場し、よい結果は出ませんでした。今回の結果をもとに練習して、来年は必ず県大会に出場できるようにがんばります。応援ありがとうございました。

【野球】

結果は、湖北中に4-7で惜敗しました。途中0-4から追いついたものの、引き離されてしまいました。あと少しの力を出し切れなかったのが、新チームのみんなには練習からがんばってほしいです。

【卓球 (男子)】

団体戦は、松徳学院と島根中に0-3、八束学園とは2-3で負けて予選で敗退し、県総体に出場することができませんでした。個人戦は、大坂・小林ペアがベスト16で、県総体に一歩届きませんでした。今回のブロック大会で私たちは、チーム一丸となって応援するこ

との大切さを学びました。この経験を糧にして、これからもがんばります。

【卓球 (女子)】

団体戦は、予選リーグを3位で通過し、決勝リーグ5位で県総体出場が決まりました。個人戦は、シングルスで日下が5位で県総体出場、ダブルスでは、片寄・戸谷ペアがベスト8、5位の石川・梶ペア、3位の長崎・森脇ペアは県総体出場を決めました。

私たちはチームみんなで励まし合い、団結して試合をすることができました。チームの中には、全力で挑めた人や悔いが残ってしまった人もいますが、このような結果が残せたのは、支えてくださった方々や応援してくださった方々のおかげです。

【女子バレーボール】

1日目は湖東中に勝ち、松江四中に負けてリーグ3位で予選を通過しました。2日目は、松江二中に1対2で負けました。目標にしていた県総体に行くことができず、悔いが残ったけど最後まであきらめずに戦い切ることができました。

【剣道】

個人では、小笹がベスト32で県総体出場、他は敗退しました。団体は県総体出場です。チームみんなが悪い空気を作らないことや、お互いを励まし合うことを学びました。課題は相手をしっかり見て動くことなので、県総体までに直し、よい結果を出したいです。

【女子バスケットボール】

初戦、松徳学院に敗退しました。2試合目、湖東中に敗退しました。最後の大会だったけど、これまで練習してきたことを最大限発揮できたのでよかったです。7・8年生も、悔いが残らないようにがんばってください。

【男子バスケットボール】

1日目は1勝1敗の2位で2日目に進みました。2日目は、一中、湖東中に惜しくも負けてしまい、3日目は附属中に負けてしまいました。今回の大会で、チームみんなで励ますことや悪い雰囲気でもチームみんながよい雰囲気に替えることを学びました。

～ 雑 感 ～

壮行式では「感謝の気持ちをもって闘う」という言葉が何度も聞かれました。県大会に出場する選手も感謝の気持ちを忘れず、恥ずかしくないプレーと態度で挑んできてほしいです。ブロック大会後、練習に参加してくれた前期課程の教員 1 人 1 人にお礼を述べている生徒の姿が見られ、大変うれしく思いました。

少し緊張気味でスタートしました ～ペア読書(1・2・5・6年生)～

今年度から、6年生が2年生に、5年生が1年生に絵本の読み聞かせをするペア読書が始まりました。6月13日に第1回を実施しました。5年生の学級通信を一部紹介します。

今回の経験を次回に活かして、工夫してくれることを期待しています。「次はこんな本にしよう」とすでに見通しをもっている児童や、「別れるときにハグしてくれた」「最後にハイタッチしたよ」と嬉しそうに話してくれる児童もいました。みんな、しっかりお兄さんお姉さんの顔をしていました。



👁️ 玉湯のよいところを探して 👁️

～町探検(3年生)～

5月13日に玉造温泉街コース、20日に北コースと2回に分けて町探検をしました。

2年生の時より1人あたりの見学ポイントが増え、新たな発見もあったことと思います。本校では、2年生生活科でのまち探検、3年生社会科での町探検、7年生総合的な学習の時間での松江研修と、段階的に発展させながらふるさと学習に取り組んでいます。

北コースで宍道湖岸へ



松江研修のまとめ方を考える

～新聞教室(7年生)～

7年生は9月に松江研修をしたあと、情報をまとめ、発信します。玉湯小の頃からNIE(教育に新聞を)の活動に力を入れていたこともあり、6月3日には山陰中央新報社の清水さんを講師に、新聞教室を実施しました。新聞の特徴(読むポイント、まとめ方など)、取材の仕方、情報の扱い方など、とても丁寧に説明してくださいました。新聞の購読者数は減っていますが、情報の信頼性や保存性など長所もたくさんあります。7年生には、取材目的を明確にして活動し、松江のよさや課題について、しっかりと情報発信してほしいと思います。



新聞の特徴を学ぶ

野菜さん、大きくな～れ!

～やさいをそだてよう(2年生)～

2年生は、畑で野菜作りをしています。生活科の学習です。当番が水やりをしたり、育つ過程を観察したり、写真をうつしたりする姿が見られます。



観察して記録を

自分ができることから・・・

～ 社会科見学(4年生) ～

6月17日、4年生は社会科見学に出かけました。現在学習している「ごみの処理と利用」に関連して、エコクリーン松江と西持田リサイクルプラザの施設見学をしました。動画で説明を受けたり、施設内を案内してもらったりと、有意義な学習ができました。

また、島根原子力館にも行ってきました。



普段は見られない施設案内

玉湯空襲 怖さ今も消えず

～ 平和学習(6年生) ～

先月広島での修学旅行を終えた6年生が、6月18日(水)、太平洋戦争での玉湯空襲を経験された伊藤さんと、平和教育に取り組んでおられる大本さんをお招きしてお話を聴きました。

世界では今でも、紛争や戦争が起きています。日本は今年、戦後80年を迎えています。戦争のない期間がそれだけ続いたのですが、80年前には、辛く悲しい出来事が実際にありました。そして、この玉湯でも空襲被害があったり、その他にも戦争の傷跡が残ってたりします。辛い思いを押さえて貴重な体験を伝えていただき、遠くの出来事ではなく、より自分事として平和についての思いや学びを深めることができました。深く感謝いたします。

この日は、山陰中央新報社の取材もあり、表題の見出しで翌日の新聞にも掲載されました。※昨年も来ていただきました。講演を邪魔しないよう、静かにろう下を歩いていた7年生も、覚えていますと教えてくれました。今でも心に残っているようです。

真剣に聴き入る6年生



疎開についての話も



～ 雑感 2 ～

伊藤さんと大本さんのお話をお聴きして、ふと思い出しました。本校で大切に保管されている資料の中に、当時の学校日誌があったことを…。当日の記述があるかもしれないと

探してみました。すると、日誌は見つけることができました。しかし、当日の記述は、「空襲警報発令」とその時刻だけ記されていました。

ちなみに、8月15日には「正午(?)重要放送アリ 拝聴ス」との記載がありました。いわゆる、玉音放送のことと思われます。

歴史的資料の1つとしてこの機会にご紹介します。

以前勤務していた安来市に、平和を希求する美術館として有名な加納美術館があります。当館の名誉館長である加納佳代子さんから、次の言葉をお聞きしたことがあります。

「今年(2015年)は戦後70年と日本ではよく言いますが、今年(2015年)は戦前70年とならないように、私たちが平和な社会を築き、守り続けましょう。」

